氏　　名	窪田　理沙
授与した学位	博　　士
専攻分野の名称	医　　学
学位授与番号	博　甲第　7206 号
学位授与の日付	2025 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科　病態制御科学専攻 （学位規則第 4 条第 1 項該当）
学位論文題目	Partial versus Radical Nephrectomy for Small Renal Cancer: Comparative Propensity Score-Matching Analysis of Cardiovascular Event Risk （小径腎癌に対する腎部分切除術と根治的腎摘除術の比較 : 心血管イベントリスクに関する傾向スコアマッチング分析）
論文審査委員	教授 和田　淳　　教授 増山　寿　　教授 中村一文

学位論文内容の要旨

この研究は、小径腎癌に対する腎部分切除術（PN）と根治的腎摘除術（RN）の術後心血管イベント（CVe）の発生率を比較し、PN が CVe リスクを低減するかを検討したものである。PN は RN と比較して CVe の発生率を低下させる可能性があるとされているが、その効果には議論の余地がある。本研究では、CVe の定義に高血圧（HT）の悪化と脳血管イベントを含め、418 人の患者を対象に、傾向スコアマッチング解析を用いて PN と RN の効果を検討した。追跡期間中央値 73.5 か月で、PN 群の術後 5 年間の累積 CVe 発生率は 6%、RN 群は 12%であり、統計的に有意差が認められた。また術前に蛋白尿がない患者でも PN は CVe リスクの低下に寄与することが示唆され、PN が小径腎癌患者の心血管予後に有益である可能性が示された。

論文審査結果の要旨

本研究では、小径腎癌(T1a および T1b)に対する腎部分切除(PN)と根治的腎切除術(RN)の術後の心血管イベント(CVe)の発生率を比較した。418 名の対象患者を傾向スコアマッチング解析により術後 5 年間の累積 CVe を検討したところ、PN は RN と比較して CVe が有意に少なかった。

委員より CVe の定義について質問があった。本研究者は、高血圧悪化（降圧薬の追加と新規の発症）、不整脈、症候性動脈瘤、心筋梗塞、狭心症、心不全、脳卒中であり、高血圧悪化のイベントが最も多かったと回答した。また蛋白尿の予測因子としての重要性についても質問があった。術後の蛋白尿が認められない症例でも CVe リスクが低下しており、蛋白尿の術後の経過については、今後検討すべき課題であると回答した。

本研究は、長期間の経過観察と傾向スコアマッチング解析により、PN が小径腎癌患者の心血管予後に有益であることを明らかにしており、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。